

人の価値

出雲市立平田中学校 一年 原緒望

皆さんは「人間の価値」と問われたら、どのように考えますか。私は自分なりに「人間の価値」について考えてみました。

まずは、人はどんな時に「自分は価値ある人間だ」と感じるのでしょうか。自分は周りから必要とされていると感じれば、自分には価値があると考えることができます。反対に自分は周りから必要とされていないと感じると自分には価値がないと考えて、自分を嫌いになってしまうこともあります。

アルベルト・アインシュタインは、「人間の価値」についてこう語っています。

「人の価値とはその人が得たものではなく、その人が与えたもので測られる。」

と。

この言葉を聞いて、何かを得ることには個人差やその人の限界がありますが、人に何かを与えることは自分なりにいろいろな形でできることで限界はないのではと思いました。つまり、自分のことだけではなく、周りのことを考えることで、自分の価値を高めることができるのです。

「人間の価値」を考える中で、さまざまな差別から目を背けることはできないと考えました。差別は、「人間の価値」を分類し、序列をつけることで生まれます。最近話題に上がっているものは、ジェンダーによる不平等の問題やコロナ差別、人種や宗教による差別もあります。

「人間の価値」について考えたとき、自分の価値観で、他の人の価値を測ることは間違いだと思いました。

私には、零歳ともうすぐで二歳になる甥っ子がいます。その子たちは、週に一回程度うちに遊びに来ます。私も私の家族も甥っ子たちがうちに来るのをとても楽しみにしています。甥っ子たちは二人とも何かができるわけではなく、逆に腕白で手のかかることが多いです。ですが一緒にいるだけで私たちは笑顔になります。

「生まれてきてくれてありがとう。」

と心から思います。人は何かができなくても存在していること自体で周りに何かを与えてくれる価値ある存在だと実感しました。

差別に関して、今ネットによる誹謗中傷が問題になっています。ネットの情報は世界中につながり、また、その情報を鵜呑みにする人もいます。私たちが差別に関して正しく知り、自分の意志を持つことが大切だと思います。

世界でも差別をなくそうという意識の高まりがみられます。ジェンダーによる不平等の問題はSDGsの十七の目標のうちの一つになっています。人種差別についても、色鉛筆や絵の具の「肌色」を「はだいろ」という呼び名をやめて、「うすだいだい色」と呼ぶようにしています。コロナ差別をなくそうと「シトラスリボンプロジェクト」という笑顔のある暮

らしを願う活動が行われています。このように私たちの意識を変えることで、世の中の差別は解決に向けてのいろいろな活動が行われています。

そういった中で「人間の価値」について、私たちが意識を変えていくことが必要だと考えました。何かができる、みんなの役に立つ、優れたものを持っている、そういう人だけが人に必要とされるわけではないことを私の甥っ子たちは教えてくれました。アインシュタインの言葉もそのことを伝えようとしているのだと私は思います。人が持っているそれぞれに違う価値をわざわざ周りがランク付けをするのは間違っていると思います。人間が存在するとともに価値も存在します。そしてそのことを自分自身で感じる大切だと思います。私たちが、少しずつ意識を変えることでみんなが平等に認めあえる世の中になりますように。